

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健		普通科2年	1	高等学校 改訂版 保健体育 (第一学習社)	改訂版 保健体育ノート (第一学習社)
科目の概要と目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を身に付ける。			
単元		学習内容	到達度目標		
第2章 生涯を通じての健康	第1節 生涯の各段階における健康	1 人生の各段階の健康	・人生の各段階の分類について理解できる。 ・青年期の健康の危険因子とその対策について理解できる。		
		2 思春期の心の成長	・思春期の行動面・心理面の特徴が説明できるようになる。 ・性意識の男女差、性的欲求の現れ方の違いを説明することができるようになる。		
		3 思春期のからだの成長	・思春期における体の発達の特徴が説明できるようになる。 ・責任ある行動について理解できる。		
		4 結婚生活と健康	・健康な結婚生活を営むための留意点を、心身の発達の観点から説明できるようになる。 ・結婚生活が家族の健康づくりにどう関わっているかを、説明できるようになる。		
		5 新しい生命の誕生	・受精・妊娠・出産の過程が説明できるようになる。 ・母子の健康を守るための保健サービスについて具体例をあげられるようになる。		
		6 幸せで健康な家庭づくり	・健康上からみた家族計画の意義と避妊法について説明できるようになる。 ・人工妊娠中絶による女性の心身への影響について知るとともに、近年の不妊治療の現状についても説明できるようになる。		
		7 一生を通じての健康	・加齢にともなう心身の変化について、形態、機能の両面から説明できるようになる。 ・壮年期以降を健やかに過ごすための留意点を具体的にあげられるようになる。		
		8 豊かな高齢社会の現実	・わが国で進む高齢化について、その現状と課題について説明できるようになる。 ・高齢社会をより良く過ごすための社会の取り組みについて説明できるようになる。		
	第2節 保健・医療の制度と機関	1 わが国の保健医療制度	・保健行政の役割と仕組みについて説明することができるようになる。 ・医療制度とサービスの内容を知り、その活用法について説明することができるようになる。		
		2 保健・医療機関の活用	・身近な保健機関である保健所や保健センターの役割を知り、活用できる。 ・医療機関の選び方について具体的に説明できるようになる。		
		3 医薬品と健康	・医薬品とはどのようなものかを知り、医薬品を服用するときの正しい利用方法を理解する。 ・医薬品による健康被害とその対策法について知り、実践できるようになる。		
		4 さまざまな保健活動や対策	・現在わが国で行われている保健活動について知り、実践の糧とすることができる。 ・健康普及のための国際的な活動の様子を知る。		
第3章 社会生活と健康	第1節 環境と健康	1 環境と健康	・生命の誕生と地球環境の変化について理解できる。 ・環境汚染の広がりとその対策について理解できる。		
		2 大気と健康	・大気汚染はどのように起こり、どのように健康へ影響するかを、原因物質の例をあげて説明できるようになる。		
		3 水と健康	・水質汚濁はどのように起こり、どのように健康へ影響するかを、原因物質の例をあげて説明できるようになる。		
		4 土と健康	・土壌汚染はどのように起こり、どのように健康へ影響するかを、原因物質の例をあげて説明できるようになる。		
		5 産業廃棄物と汚染物質	・産業廃棄物や化学物質による健康被害がどのようなものかを知り、それらを防ぐための対策として私たちにどのようなことができるか説明できるようになる。		
		6 地球環境と健康	・地球環境問題を解決するためにどのような対策が取られているか理解し、私たち一人ひとりができる対策について意見発表できるようになる。。		
	第2節 環境と食品の健康	1 環境衛生活動	・上下水道がどのように整備されているかについて、理解する。 ・個人的、社会的なゴミの減量化について考え、意見をまとめることができるようになる。		
		2 食品衛生活動	・食品による健康被害の種類を知り、自らの健康を守るための実施できるようになる。 ・食品衛生管理について、多くの施設で行われているHACCPの説明ができるようになる。		
		3 健康のための環境と食品	・環境や食品による健康被害の予防法について理解できる。 ・それらの健康被害を防ぐため、私たちに求められている役割を説明できるようになる。		
	第3節 労働と健康	1 労働と健康生活	・働くことと健康が相互に影響することの例をあげることができるようになる。 ・近年の働く人の健康問題がどのように変わってきたかを説明できるようになる。		
		2 労働による職業病	・職業病はどのようなものなのか理解し、その予防策について説明できる。		
		3 労働による災害	・労働による傷害について理解し、対策と予防策をあげることができるようになる。		
		4 職場の健康・安全づくり	・労働者の健康・安全を守るために、国がどんな対策を取っているか理解する。 ・法律の他に、雇用者や労働者がそれぞれ配慮すべき対策は何か話し合いができる。		